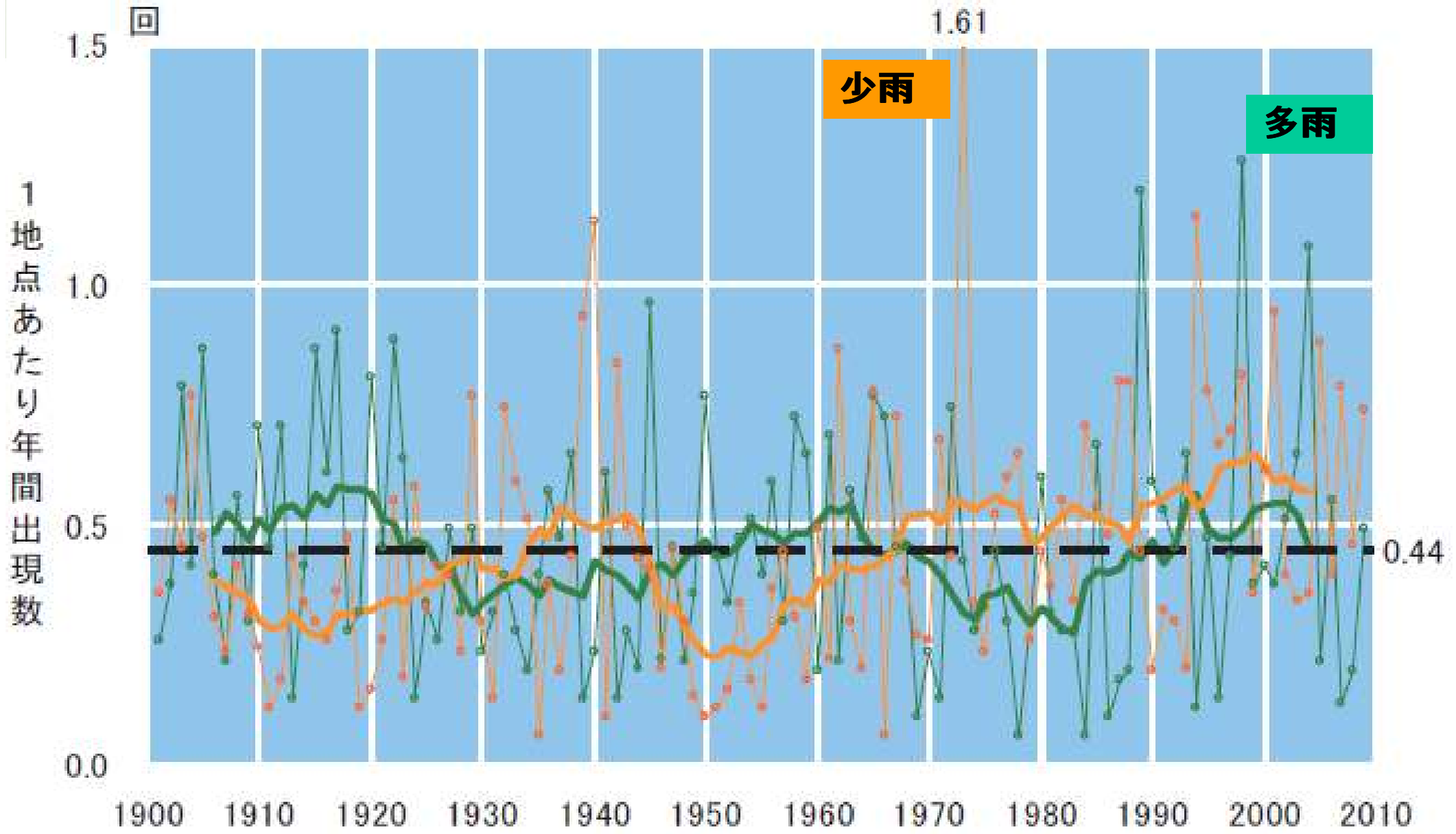


異常多雨・少雨の発生回数

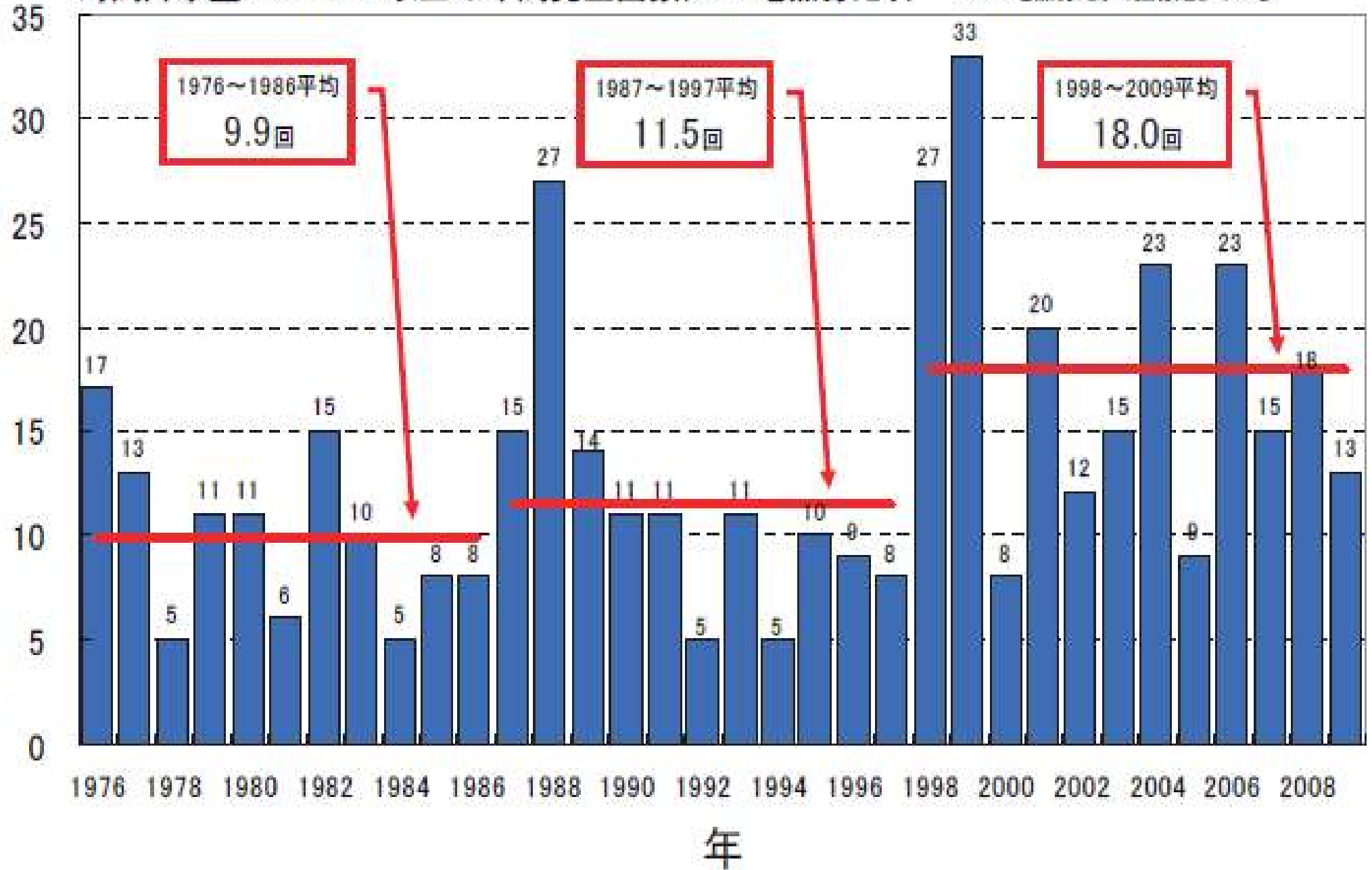


1時間降水量80mm以上の発生回数

- ・1時間降水量の年間発生回数
- ・全国約1300地点のアメダスより集計した
- ・1000地点あたりの回数としている

1時間降水量80mm以上の年間発生回数(1000地点あたり)

年間発生回数(1000地点あたり)

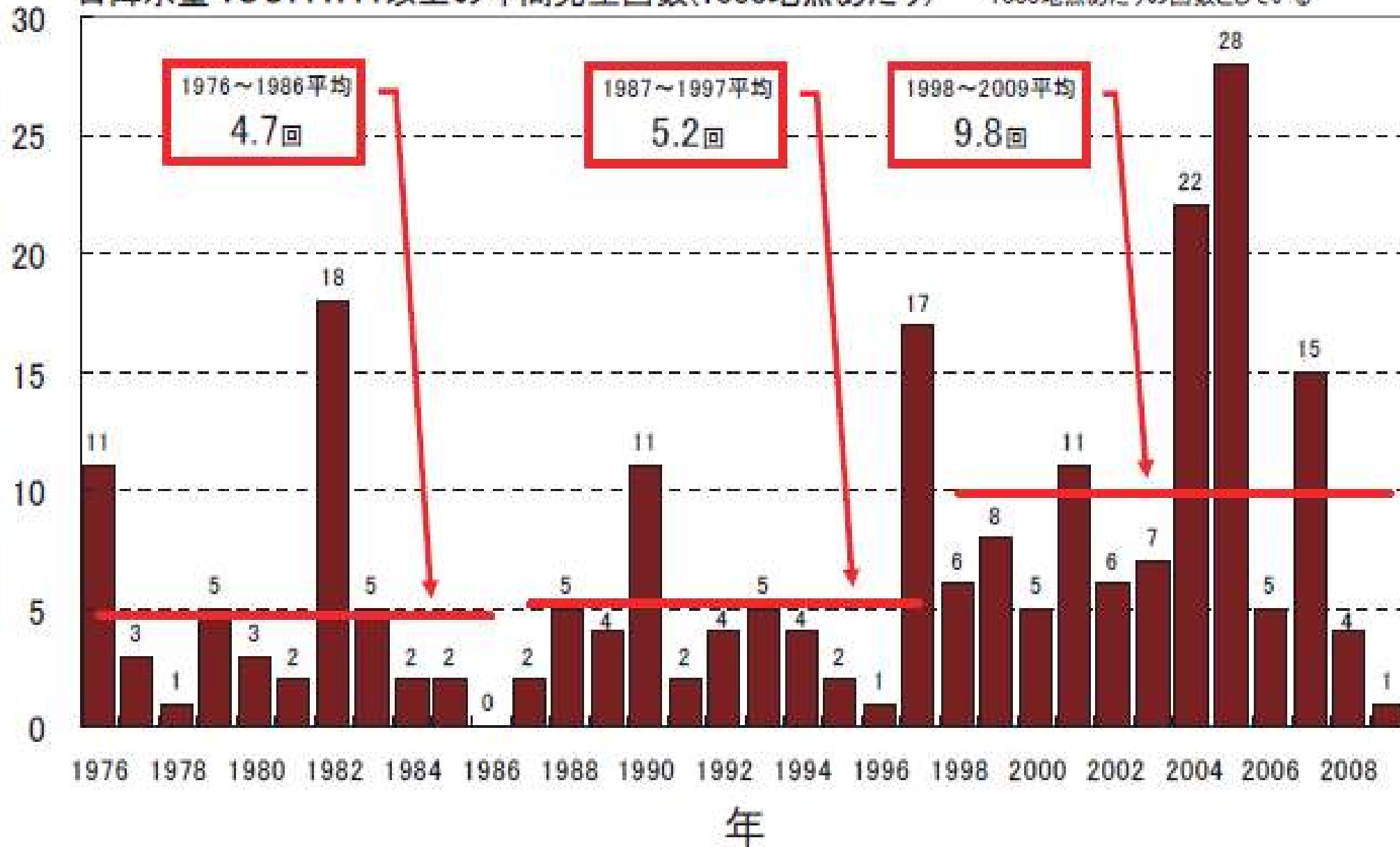


日降水量400mm以上の発生回数

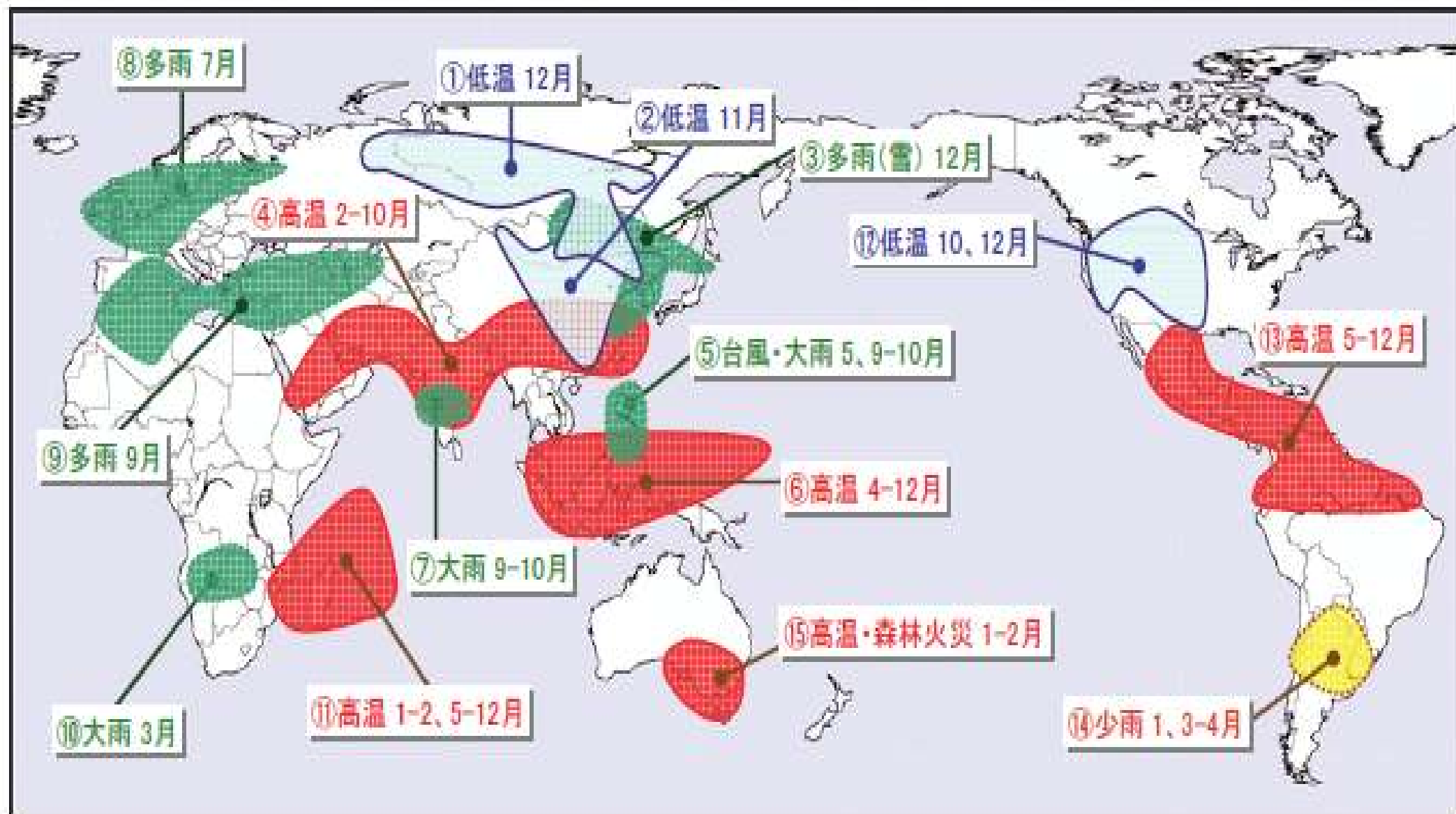
- ・日降水量の年間発生回数
- ・全国約1300地点のアメダスより集計した
- ・1000地点あたりの回数としている

日降水量400mm以上の年間発生回数(1000地点あたり)

年間発生回数(1000地点あたり)



2009年 世界の主な気象災害分布図



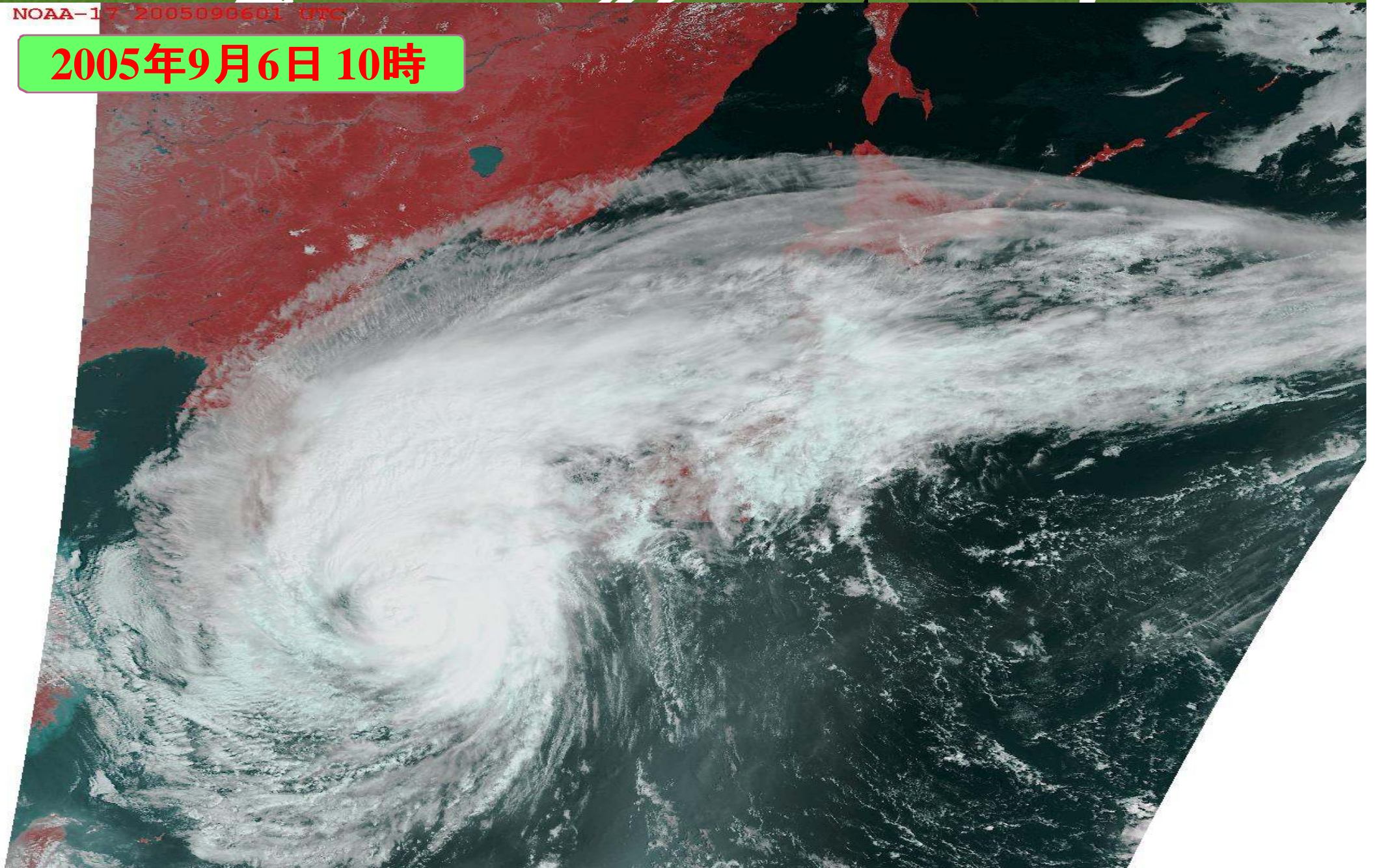
地球温暖化と気象環境変化 台風の大規模化など

台風について

台風14号

NOAA-17 2005090601 UTC

2005年9月6日 10時



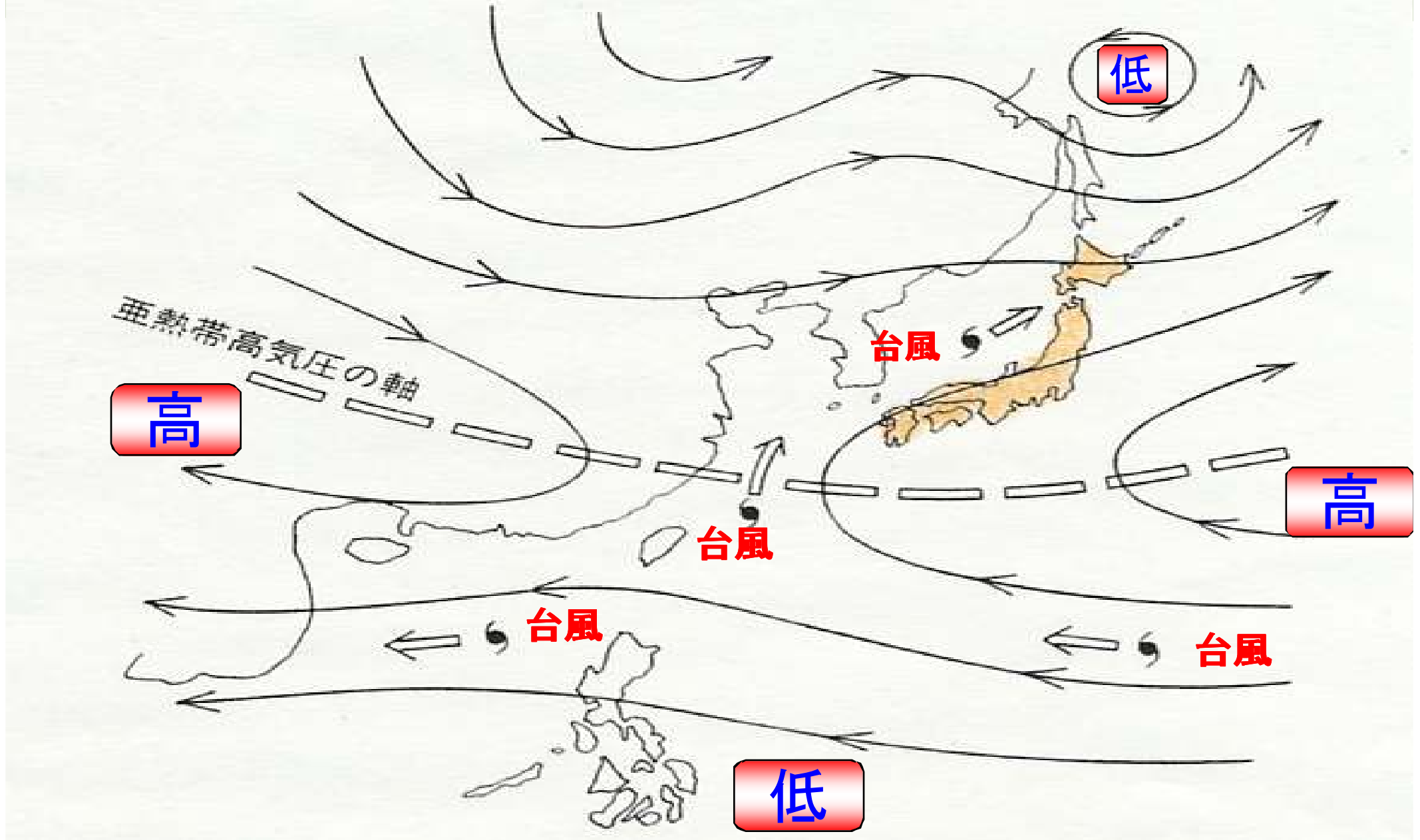
台風(1)

- * **熱帯低気圧** : 熱帯または亜熱帯地方に発生する低気圧の総称で、風の弱いものから台風やハリケーンのように強いものまでである。気象情報等で「熱帯低気圧」を用いる場合は、台風に満たない、低気圧域内の風力の最大が7以下(17.2m/s(34kt)未満)のものを指す。」
- * **台風** : 「北西太平洋に存在する熱帯低気圧のうち、域内の風力の最大が8以上(17.2m/s(34kt)以上)のもの。」

台風(2)

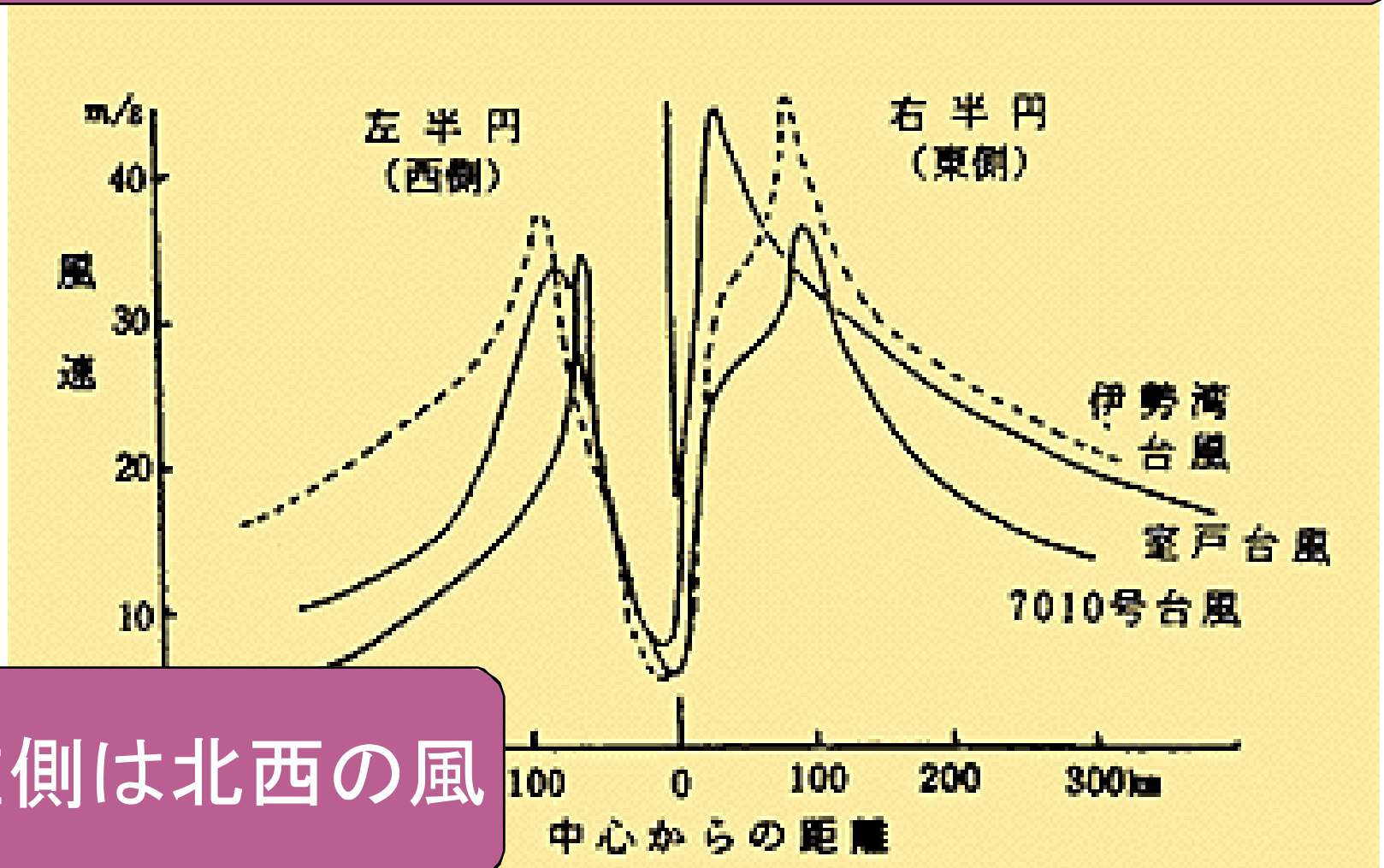
- * **台風のエネルギー** : 台風は暖かい海面から供給された水蒸気が凝結して雲粒になるときに放出される熱をエネルギーとして発達します。平均的な台風の持つエネルギーは広島、長崎に落とされた原子爆弾の10万個分に相当する巨大なものといわれています。
- * **台風の移動** : 台風は上空の風に流されて動き、また地球の自転の影響で北へ向かう性質を持っています。そのため、通常東風が吹いている低緯度では台風は西へ流されながら次第に北上し、上空で強い西風(偏西風)が吹いている中・高緯度に来ると台風は速い速度で北東へ進みます。

台風を流す大規模な風系



台風 暴風

台風の中心のすぐ右側で南東の風が強い



台風の左側は北西の風